

主寝室から夫婦別寝室へ

「夫婦別寝室」と聞くと、夫婦仲が悪いのでは？と思われるでしょうか。夫婦が別々の部屋に寝る、あるいは主寝室でも相手の様子が感じられる程度に間仕切りをする、そういった寝室のリフォームを行うケースが増えてきています。今回は、夫婦それぞれが快適に過ごすためのリフォーム設計のひとつとして、ご紹介したいと思います。

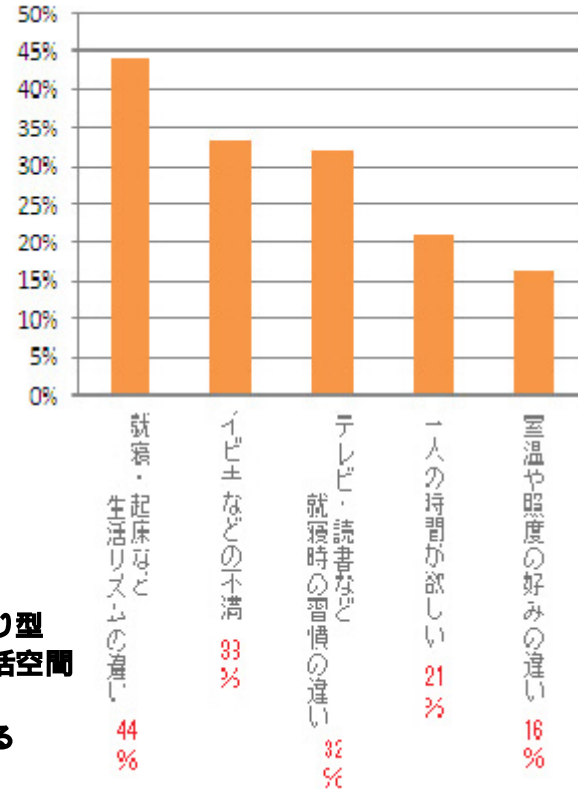
住生活研究所が行った30～69歳までの夫婦への調査では「別寝室で寝ている」と答えた人は全体の3割。しかし50～60代の夫婦に限れば、5割が別寝室を望んでいるそうです。その理由が、グラフのとおり。必ずしも、別寝室希望は夫婦不仲が原因ではないのです。

(我が家でも夫は暑がりなので、夏場のエアコンの温度設定ではとても悩んでいます・・・)

これまであたりまえのように図面に表記されていた「主寝室」という言葉も、夫婦それぞれの生活やご要望にあわせて設計していく必要があると感じます。

そこで、別寝室を希望される方におすすめのプランです。

- (1) 寝室を2つつくる完全別寝型
- (2) 寝室中央を引き戸にし、容易に行き来できるようにする
開閉引戸型
- (3) 天井にブラインドを吊下げ生活空間をわける簡易間仕切り型
- (4) 一部屋を広めにし、中央にクローゼットなどを置いて生活空間をわける別スペース型
- (5) ベッドとベッドの間に家具などを置いて生活空間をわける家具活用型



リフォームの機会に快適な睡眠や寝室について考え、選択肢が広がっていただけたらと思います。